



菟道小学校は、

### 「児童にとって学びたくなる学校」 「保護者にとって通わせたい学校」

を目指して、学校・保護者・地域が一体となって、多様で魅力ある取組を進めています。

## 教育目標

### 目指す学校像

教え合い学び合いのある学校  
優しく思いやりのある学校  
明るく笑顔のあふれる学校  
あいさつと礼儀のある学校  
美しく落ち着きのある学校

### 目指す児童像

自ら学びやりぬく児童  
仲良く助け合う児童  
健康で明るい児童  
心豊かで素直な児童  
よく働き責任を果たす児童

## 学校経営の重点

- 1 生命と人権を尊重し、やさしさと思いやりのあふれる温かい学校を目指す。
- 2 児童の学力を伸長するため、不断の工夫と改善を行う学校を目指す。
- 3 家庭や地域との連携や情報提供を行い、魅力ある学校を目指す。

本校では、下記のような取組を行い、すべての児童に「質の高い学力」と「豊かな人間性」を育成し、保護者をはじめ校区の方々から信頼される、魅力ある学校づくりに努めています。

また、平成 24 年度からの「小中一貫教育」の全面実施に向けて、菟道第二小学校及び宇治中学校の3校で、NEXUS プランに基づく義務教育9年間を見通した教育活動の在り方の実践的研究を行います。

## 豊かな心の育成

### つながる力

命の大切さや思いやりの心、高い人権意識など「豊かな心」をもった子どもを育てることは、喫緊の課題です。本校では、「こころ」「からだ」「まなび」の3つの視点を設定して、道徳の時間や学級活動の中で様々な取組をしています。

### 朝のあいさつ

集団登校してきた子どもたちは、元気にあいさつをして校門を入ります。



### 人権教育

すべての教育活動を通して人権教育を行っています。写真は、6年生の社会科の時間に行った人権教育の一場面です。昨年度は、宇治中と菟道第二小との合同授業研究会として行いました。



### 食育

学級担任や給食主任と連携して、学校栄養士が食育について授業をします。写真は、「うんこの話」の一場面です。



## 学力の向上

### 展望する力

本校では、子どもたちの学力の定着と向上を図るために、「ことばの力」を育てる研究をはじめ、少人数授業や補充学習など様々な取組をしています。今後とも、家庭との連携を密にして「自ら学びやりぬく児童」を育てていきます。

### 重点研究

平成23年度から2年間、京都府教育委員会「京の未来創造校」研究指定校として、社会科・生活科の学習を通して、児童に考える力、調べたことを表現する力を育てる実践研究に取り組みます。

### 少人数授業

2年生～6年生に、それぞれ一人ずつ教育方法加配が入る体制を基本として、日常的に習熟の程度に応じた学習をはじめとした少人数授業を行い、個に応じたきめ細かな指導を進め、確かな学力の定着を図っています。

### 補充学習

- 朝学習：授業開始前二、計算練習や漢字練習、音読、読書などを行い基礎・基本を身に付けます。
- おさらい会：毎週月曜日の授業後、全学年で担任外の教員が加わり、少人数グループに分けて授業の補充を行っています。
- 補充学習：1～3年生で毎週1時間、担任外の教員も加わり、各学級2名体制で実施しています。

### 家庭学習の手引き

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにも大切です。この手引き書は、保護者(育友会本部役員)の方々と教職員が協同で作成しました。



## 特色ある教育活動

### 挑戦する力

児童が、潤いのある生き生きとした学校生活を送るためには、楽しく魅力ある教育活動を設定することが大切です。本校では、育友会や教育後援会などのご支援とご協力を得ながら、魅力満載の伝統行事や多様な体験活動を展開しています。

### 鼓隊クラブ

毎年、運動会や地域の行事をはじめ、宇治市や京都府のフェスティバルに出演し、高い評価を得ています。今年は、「国民文化祭」にも出演します。



### 臨海学習

5年生が、2泊3日の日程で水泳や海辺のくらしについて、体験学習をします。



### 左義長

育友会、教育後援会、父親の会の協力を得て、小正月前後に毎年実施しています。

